

「現地メディア向けプレスツアーを行いました」

12月6日、現地メディア向けプレスツアーを実施し、新聞・テレビ11社15名のジャーナリストとカメラマンが参加しました。このプレスツアーは、日本の開発協力が現地メディアで取り上げられる機会を増やすとともに、パナマ国の政府関係者、知識層およびパナマ国民への情報発信を強化するためのものです。

プレス一行は、西パナマ県ラ・チョレラ市にあるニコラス・ア・ソラノ病院を訪れ、技術協力「パナマ首都圏下水道事業運営改善プロジェクト」の視察を行いました。

「日本のテクノロジー、浄化槽“Johkasou”を設置する」

パナマ首都圏では急激な人口増加に伴い、未処理の生活排水の放流により汚染されたパナマ湾を浄化すべく、円借款を中心とした融資（パナマ市及びパナマ湾浄化事業）により下水道及び下水処理場が整備され、市民の生活環境が改善されつつありますが、パナマ政府側に下水道事業の運営経験が少ないことから、下水道の運営改善への技術協力が進められています。下水道事業は、市民の生活基盤の1つとなるものですが、同分野へ日本の協力が行われていることの認知度は高くありません。そのため、本技術協力の一環として実施する西パナマ県ラ・チョレラ市にあるニコラス・ア・ソラノ病院への浄化槽の設置工事に合わせ、日本の協力状況と浄化槽“Johukasou”の名前を広く国民へ知ってもらうことがPRのポイントでした。



プレスの参加状況



浄化槽についてインタビューを受ける JICA 専門家



浄化槽をバックにインタビューを受ける病院関係者



プロジェクト関係者による鍬入れ

プレスツアー後、各紙記事の中では“Johkasou”の単語を使った、日本の協力状況が紹介され、多くの市民が下水道分野に対する関心と同分野への日本の技術協力状況の理解をより一層、高めることが出来たのでは無いかと思います。

関連リンク（外部サイト）

プレスツアー後、以下の各メディアで報道されました。

○パナマ・アメリカ紙（2016年12月6日）

[Tecnología japonesa reemplazará tanques sépticos de hospital Nicolás Solano](#)

（邦訳）「日本の技術はニコラス・ア・ソラノ病院のタンクを取り替える」

○エル・シグロ紙（2016年12月7日付）

[Hospital tendrá moderna planta de tratamiento](#)

（邦訳）「病院は最新の処理プラントを設置」

○クリティカ紙（2016年12月7日付）

[Planta para hospital](#)

（邦訳）「病院へ処理プラント」

○ラ・エストレージャ紙（2016年12月14日付）

[JICA inicia plan piloto de tratamiento de aguas en hospital de La Chorrera](#)

（邦訳）「JICAはラ・チョレラ市の病院にて水処理のパイロットプランを開始」